



日本学術会議 史学委員会 科学・技術の歴史的理論的社会的検討分科会 主催
無料公開シンポジウム

イノベーションの 歴史に学ぶ

アーカイブ構築と国際情報発信の意義・重要性

2014年9月27日(土) 13:00 ~ 17:00

明治大学駿河台キャンパス・リバティタワー1階1011教室



第1部「世界と日本における発明・発見・イノベーションの歴史的展開」

佐野 正博

(日本学術会議連携会員、明治大学経営学部教授)

「イノベーション概念の歴史的＝理論的整理」

田口 直樹

(大阪市立大学大学院・経営学研究科教授)

「技術史から見た戦後日本のイノベーションの展開」

第2部「経営発展とイノベーション」

米倉 誠一郎

(一橋大学イノベーション研究センター教授)

「経営革命：イノベーション遂行者としての企業家」

橘川武郎

(日本学術会議連携会員、一橋大学商学研究科教授)

「日本経営史にみるイノベーションと企業競争力」

第3部 「イノベーションと歴史的記録・保存の社会的意義」

高津 隆

(帝国データバンク史料館・館長)

「企業史料とビジネス・アーキビスト」

司 会

伊藤 直子

(明治大学ビジネス・イノベーション研究所)

兵藤 友博

(日本学術会議第一部会員、立命館大学経営学部教授)

佐々木 聡

(明治大学経営学部教授)

共 催 日本学術会議 史学委員会

協 賛 日本科学史学会、日本経営史学会

後 援 明治大学社会連携機構、明治大学ビジネスイノベーション研究所、立命館大学イノベーションマネジメント研究センター

参加費無料・事前申し込み不要[どなたでも自由に参加できます]